

土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、市役所(本庁舎 総務課 電話73-2112)へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいと、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報について

●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生が高まった時に、市が防災活動や住民等への避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難判断に役立てることを目的として、県と秋田地方気象台が共同で作成・発表する情報である。

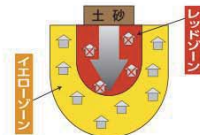
●土砂災害警戒情報の発表

県等が発表する土砂災害警戒情報を受け、市は、気象状況、前兆現象、秋田県土砂災害危険箇所マップ(県の補足情報)や土砂災害警戒判定メッシュ情報(補足情報)の危険度指数等も併せて総合的に判断し、住民への避難情報等を提供します。また、住民への情報伝達は、防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)等を活用し、速やかに伝達します。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、秋田県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)	建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)	土砂災害のおそれがある区域



洪水ハザード情報について・・・1

平成27年の水防法改正に基づき、一部新しい基準で浸水域の公表がありましたので、マップに掲載してお知らせします。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1

氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

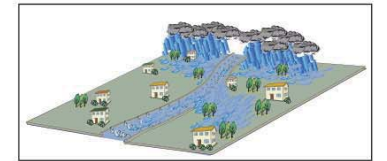
内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはげけずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防が決壊させて川の水が外にあふれおきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



2

水防法改正の主要変更内容

今回の水防法改正では、近年豪雨による浸水被害が多発している経験から、想定し得る最大規模の降雨量を基に浸水想定区域と浸水深等について改正しています。

- 浸水深
浸水深ランク分けの設定変更
- 家屋倒壊危険区域の設定
洪水氾濫、河岸浸食による、流速度・深度による家屋倒壊区域の設定。

3

水防法改正に伴う、防災マップの洪水ハザード情報の表現内容

湯沢市では、水防法の改正内容を基に、新しい浸水深ランク分けにより浸水想定区域表示された雄物川水系2河川(雄物川・皆瀬川の一部)を詳細地図上に掲載しています。役内川については、水防法改正前の浸水想定区域表示で分けて掲載しています。

- 浸水深ランクの表現
6段階(最大8段階)までの浸水深ランク分けを、「垂直避難」を判断する深さ(3m)を基準に4段階に変更して表示。
- 家屋倒壊危険区域の表現
洪水氾濫、河岸浸食による二つの危険区域の表現を、一つにまとめて表示。

4

洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報。

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。

指定河川洪水予報など

- 雄物川・皆瀬川(一部)については、秋田地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する湯沢河川国道事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。役内川については水位周知河川に指定されており、避難判断水位に達したとき秋田県が「避難判断水位到達情報」を発表します。

水位にともなう判断基準イメージ



※基準水位や現況水位は、「秋田県防災ポータルサイト」で確認できます。
<http://www.bousai-akita.jp/>